

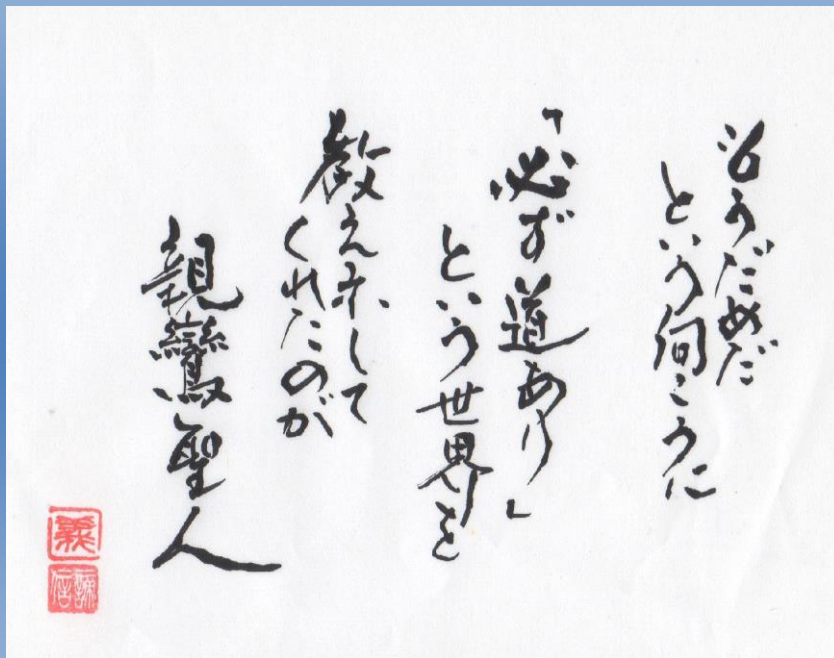


真宗大谷派 存明寺通信

NO.191

2019年(仏歴2550年)7月6日発行

7月のお寺の掲示版



今泉温資先生(往生人舎主宰) 存明寺永代経法要の法話より



もうだめだという向こうに、 「必ず道あり」という世界を 教え示してくれたのが親鸞聖人。

(今泉温資)

人生、思うようには生きていけない… この先どうしたらいいのだろう… なぜ自分だけがこんな目に… そんな感覚はこの世を生きていれば、 誰もがいつかは感じることに。 そんな「もうだめだ」と感じる人間に、 響いてくるひかりの言葉がある。
すでにこの道あり、必ず度すべし (親鸞『教行信証』より)
道はすでにある、かならず渡ろう、と。 それは「だめだ」と嘆く人間に届けられる、 心のこもった応援歌だ。 そんな世界を、今なお教え示す人、 それが、親鸞聖人。

サラリーマン川柳から

うなずく教え

存明寺住職 酒井義一

ある日新聞を読んでいたら、思わずニヤリとしてしまった。そこに書かれてあったのはサラリーマン川柳。なんでも32年が経ったという。紙面には歴代の1位作品がずらっと並んでいた。たとえばこんな作品。

「ごほんよ」と

呼ばれていけば

タマだった

自分より先にペットかよと、サラリーマンの悲哀が笑いとともて伝わってくる。こんな作品もあった

「課長いる？」

かえったこたえは

「いりません」

何気なく聞いたことに、思わぬ答えが返ってきた、そんな事実にはドキリとする人も、きつというはず。

いい数字

出るまで測る

血圧計

これは自分もやっている。こんなはずじゃないと、何回か測り直す血圧計。

やせなさい

腹にしみいる

医者の声

最近メタボ気味だからか、身に覚えがある。しかし、わかっちゃいるけど、そうできない。まさに身に「しみいる」声である。

やせてやる

これ食べてから

やせてやる

人間の食欲は手ごわい。体重を落とそうと思っても、つい目の前のものに手が出てしまう。思わず笑ってしまった。

久しぶり〜

名が出ないまま

じゃあまたね〜

最近そんなことが増えてきた。どこかで会ったはず、でも名前が出てこない。う〜ん、困った。

というところで、さすがはサラリーマン川柳。言い当てられるからこそ、笑いが出てくるのだろう。

ところで今年の存明寺永代経の講師・今泉温資先生は、当日の法

話の中で次のように語られた。

仏教はわかる教えでは

ありません。

なるほどその通りと

うなずく教えです。

仏教とは、頭で考えて理解する教えなのではなく、言い当てられて、なるほどその通りだとうなずく教えだという。

それは、どこかサラリーマン川柳と似てはいないだろうか。ああ、自分のことだなとか、身に覚えがあるなとか。

教えは、自分では気づくことができない自らのすがたをきちんと言い当て、照らし出しているのだ。うなずくしかないのだろう。

教えの言葉に触れて、私の姿が言い当てられ、うなずいていく。そのような歩みを、大事にしたい。

そのうなずきは、さらに深い世界へと、私をいざなうことだろう。

了



サラリーマン川柳

(つづき)

○ドットコム

どこが混むのと

聞く上司

○皮下脂肪

資源にできれば

ノーベル賞

○いい家内

10年たったら

おっ家内

○記憶にない

夫のどこに

ほれたのか

(住職選)

住職日記

▼春の法要 永代経法要

5月3日にすべての亡き人を偲ぶ「永代経法要」が行われ、多くの方々が参詣された。精進料理のお昼ごはん（おとき）のあと、門徒感話（小林和子さん・存明寺世話人）、多くの僧侶が出仕した永代経法要が勤められた。

法話は今泉温資先生。先生は「泣くことの大切さ、涙を流すことの尊さ」と題し、ユーモアを交えながら法話をされた。時に笑いもあり、聴衆は引き込まれていった。

今泉温資先生の法話

*もうだめだという向こうに、必ず道ありという世界を教え示してくれたのが親鸞聖人。
*悲しみはそのまま持ち続けられ、その中から必ず希望が生まれてくる。
*亡き人は言葉となって生き続ける。いよいよ出会いのはじまり。
*亡くなった人が道をつけてくれた。亡くなった人にひかれて存明寺参り。

▼ぞんみょうじこども食堂

毎月開催しているこども食堂。定番のキーマカレーが提供され、スタッフを含めて約90名が参加。現在こども食堂は全国に3700超あると言われているが、存明寺でのこども食堂も、食事の提供だけではなく、人々の交流の場となっている。顔なじみも増えた。
4・5歳児は相変わらず住職にたたかいを挑み続けてくる。

▼グリーンフケアのつどい

開設から12年、48回目となるグリーンフケアのつどいが6月末に行われ、22名が参加。皆それぞれに大切な方を失い、様々な思いを抱いて集まって来られる。時には涙を流し、言葉に詰まる。しかし時には、じつと聞き、頷いて、共感の世界が広がっていく。来た時よりも帰る時の方が皆表情がいい。きっとその場が人の心を開き、人をあたためているからなのだろう。



■新刊 住職の本

私を照らすひかりの言葉

高山教区（岐阜県）の『ひだ御坊』に2014年から4年間にかけて連載させていただいた「私を照らすひかりの言葉」が、一冊の本になりました。自分が出遇った言葉とその墨書、住職のコラムが掲載されています。

存明寺にて販売中です。

一冊 800円



存明寺グリーンフケアのつどい 2019年6月



ぞんみょうじこども食堂 2019年5月



永代経法要の今泉温資先生 2019年5月



お寺のひろば 2019

7月13日(土) 11時と13時 お盆ほん法要

内容…正信偈の唱和とお話

お話…浮葉貴大さん・岡田真さん・酒井住職
8月31日(土) 午後 青年のつどい

仏教に触れるひととき&境内バーベキュー

9月7日(土) 14時 樹心の会

お話…藤井俊五さん・酒井義一住職

9月19日(木) 13時 **新**おそうじの日

9月23日(月) 11時と13時 秋のお彼岸ひがし法要

9月28日(土) 14時 グリーフケアのつどい

大切な方を亡くされた人へ

10月5日(土) 14時 日帰り旅行会

行先…深大寺・神代植物公園・水神苑

10月12日(土) 14時 樹心の会

10月26日(土) 10時 おみがきのつどい

11月2日(土) 14時 報恩講ほうおんこうのゆうべ

3日(日) **12時** 報恩講ほうおんこう法要

お話…金石潤導先生(北海道教区開正寺住職)

講題…人間獲得(じんかんぎやくとく)

11月9日(土) 14時 樹心の会

12月14日(土) 14時 樹心の会

12月21日(土) 14時 グリーフケアのつどい

◎ぞんみようじこども会 月一回

◎ぞんみようじこども食堂 月一回

◎子育てサロンいちごのへや 月一回

存明寺 青年のつどい

8月31日(土) 15時

場所 存明寺にて

内容 第1部 仏教に触れる時間

ふれあいタイム

第2部 境内バーベキュー

花火・スイカタイム

会費 3,000円

※事前にお申し込みください。

日帰り旅行会 深大寺への旅

10月5日(土) 14時

集合 京王バス「深大寺」停留所

内容 深大寺と神代植物公園見学

水神苑にて夕食交流会

案内 熊崎尚登さん(存明寺世話人)

会費 6,000円(夕食代を含む)

※事前にお申し込みください。



【あしがき】

▼この夏、ついに本堂にクーラーを設置しました。昨年の猛暑で気分を悪くされた参詣者が複数おられたからです。これで快適。夏のお寺の行事にも、どうぞご参詣下さい。

▼それに合わせて今にも崩れそうだった墓地の水屋(手桶置き場)を新しくしました。屋根つきの休憩所もあります。皆さまに心地よくお墓参りをしていただきたいと思います。ます。

▼暑い暑い夏がやってきます。しっかりと乗り越えていきましょう。(住職)

東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一(釋諦信)

〒157-0061 TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp